

生物多様性総合評価								
大項目	中項目	小項目	指標(データ)	データ元	重要性	更新可能性	総合判断	
1	要因の評価	第1の危機	土地利用の推移	統計	○	○	○	
2			陸域における生態系の規模等	統計	○	○	○	
3			①生態系の開発・改変	変換の少ない植生の分布	自然環境保全基礎調査	●	x	-
4			20世紀初頭から1980年代までの土地利用の変化	論文	●	x	-	
5			1980年代から1990年代までの土地利用の変化	自然環境保全基礎調査	●	x	-	
6			農地から宅地・工場用地などへの転用面積(人為的廃面積)の推移	統計	●	○	-	
7			林地からの都市的土地利用への転換面積の推移(目的別用途)	統計	●	○	-	
8			②野生動物の直接的利用	狩猟者数の推移	統計	○	○	○
9			③水域の富栄養化	湖沼・海域における全窒素濃度および全リン濃度の推移	公共用水域水質測定結果	○	○	○
10				大気経路の窒素の影響	論文	●	x	-
11			④絶滅危惧種の減少要因	分類群ごとの絶滅種・野生絶滅種・絶滅危惧種の割合	レッドリスト	●	○	-
12				絶滅種・野生絶滅種の年代と種名	レッドリスト	○	○	○
13				年代別の絶滅種数(維管束植物)	論文	○	x	-
14				絶滅種・野生絶滅種の年代と種名(維管束植物)	論文	○	x	-
15				生物分類群ごとの絶滅危惧種の減少要因	レッドリスト	○	○	○
16				絶滅種・野生絶滅種の減少要因	レッドリスト	●	○	-
17				レッドデータブック掲載種(維管束植物)の都道府県別種数	レッドリスト	●	○	-
18			⑤保護地域	日本の干潟環境に悪影響を及ぼしている主な要因とそれぞれの干潟環境における相対的重要性	論文	●	x	-
19				主な保護地域の面積の推移	政府資料(J-IBIS)	○	○	○
20				各生態系の保護地域カバー率	政府資料(国土数値情報)	○	○	○
21			⑥捕獲・採取規制、保護増殖事業	各生態系の保護地域カバー率(指定主体別)	政府資料	●	△	-
22				「種指定天然記念物」と「国内希少野生動物種」の指定数の推移	政府資料(環境省資料・文化庁HP)	○	○	○
23				都道府県版レッドリスト・レッドデータブックと希少種条例を作成・制定した都道府県数の推移	政府資料(環境省資料)	○	○	○
24	第2の危機	⑦里地里山の利用	薪炭の生産量	統計	○	○	○	
25			牛の使役目的の変化	論文	●	x	-	
26			耕作放棄地面積の推移	統計	○	○	○	
27			国土に占める里地里山メッシュ割合の推移	政府資料	●	△	-	
28	⑧野生鳥獣の科学的な保護管理	特定鳥獣保護管理計画の策定数の推移	政府資料(環境省HP)	○	○	○		
29	第3の危機	⑨外来種の侵入と定着	外来昆虫・外来雑草の侵入・定着種数の変化	論文	●	x	-	
30			海外から輸入される「生きている動物」等の輸入量の推移	統計	○	○	○	
31			海外から輸入される「生きている動物」の近年の輸入数の推移	統計	○	○	○	
32		侵略的外来種の分布の拡大	論文	○	x	-		
33		アライグマの捕獲数の推移	自然環境保全基礎調査	●	x	-		
34		⑩化学物質による生物への影響	主要汚染物質の検出状況の経年推移(魚類・貝類)	政府資料(化学物質と環境)	○	○	○	
35	⑪外来種の輸入規制、防除	特定外来生物、未判定外来生物及び要注意外来生物の種類数	政府資料(環境省HP)	○	○	○		
36		都道府県の防除の確認件数	政府資料	●	△	-		
37	地球温暖化の危機	⑫地球温暖化による生物への影響	オホーツク海の海氷の減少	論文	●	x	-	
38			石西礁湖におけるサンゴの白化と温度の関係	論文	○	x	-	
39			アボイ岳の高山植物の減少	論文	●	x	-	
40			ナガサキアゲハの分布の変化	論文	●	x	-	
41			タイワンウチワヤシマの分布の変化	論文	●	x	-	
42			ミナミアオカメシの分布の変化	論文	●	x	-	
43			福岡県筑前海沿岸の魚類相の変化	論文	●	x	-	
44			越冬期におけるコハクチョウの全国の個体数の変化	論文	●	x	-	
45	ソメイヨシノの開花日の変化と気温との関係	論文	○	x	-			
46	コムクドリ産卵時期の変化	論文	●	x	-			
47	対策の基盤	⑬生物多様性の認知度	生物多様性の認知度	政府資料	○	○	○	
48			日本の環境分野におけるODA金額の推移と生物多様性関係の占める割合	統計	○	○	○	
49			⑭海外への技術移転、資金供与	生物多様性の保全に関連する基金等へ日本の拠出割合	海外資料	○	x	-
50			国際協力機構(JICA)による生物多様性分野の技術協力プロジェクトの地域別件数	報告書	○	x	-	

生物多様性総合評価								
	大項目	中項目	小項目	指標(データ)	データ元	重要性	更新可能性	総合判断
51				森林面積(天然林・人工林)の推移	統計	○	○	○
52				人工造林面積の推移	統計	○	○	○
53			⑮森林生態系の規模・質	ニホンジカの分布変化と捕獲数の推移	自然環境保全基礎調査・統計	○	○	○
54				マツクイムシ被害量(被害材積)	政府資料	●	△	-
55			⑯森林生態系の連続性	森林の分断状況	報告書	○	×	-
56			⑰森林生態系に生息・生育する種の個体数・分布	ヒグマ・ツキノワグマの分布変化	自然環境保全基礎調査	●	×	-
57				「生きている地球指数」	論文	○	×	-
58				森林蓄積量(天然林・人工林)の推移	統計	●	○	-
59			⑱人工林の利用と管理	針葉樹・広葉樹別国内素材生産量と用材自給率	統計	●	○	-
60				世界と日本の森林面積の変化	統計	●	○	-
61				耕地面積の推移	統計	●	○	-
62				水田整備面積及び水田整備率の推移	統計	●	○	-
63			⑲農地生態系の規模・質	農地・草原の面積の推移	統計	○	○	○
64				農薬・化学肥料の生産量の推移	統計	●	○	-
65				森林以外の草地(野草地)の面積	統計	●	○	-
66				全国のため池数の変化	論文・報告書	○	×	-
67			⑳農地生態系に生息・生息する種の個体数・分布	秋期の渡りにおける内陸性のシギ、チドリ個体数の傾向	論文	○	×	-
68			㉑農作物・家畜の多様性	アワ、ヒエ、ソバ(雑穀類)の作付面積の推移	統計	○	○	○
69				東京都特別区の土地利用の推移	統計	○	○	○
70			㉒都市緑地の規模	東京都特別区の緑被率の推移	統計	●	○	-
71				都市公園の面積の推移	都市公園等整備現況調査	●	○	-
72			㉓都市生態系に生息・生育する種の個体数・分布	東京都におけるヒバリの分布の変化	報告書	○	×	-
73				東京都におけるメジロの分布の変化	報告書	○	×	-
74				東京都におけるハシブトガラスの分布の変化	論文・報告書	●	×	-
75				明治大正時代から現在の湿原面積の変化	湖沼湿原調査	●	×	-
76			㉔陸水生態系の規模・質	釧路湿原の湿原面積の変化	環境省ホームページ	●	△	-
77				主要湖沼における干拓・埋立面積	自然環境保全基礎調査	●	×	-
78				河床の低下及び河道外への土砂の搬出	政府資料	○	×	-
79				1900年以降のダムでの竣工数及び累積総貯水量の推移	国土数値情報	○	×	-
80				1990年代の一級河川等における魚類の遡上可能範囲	自然環境保全基礎調査	○	×	-
81			㉕河川・湖沼の連続性	河川水際線の状況の推移	自然環境保全基礎調査	○	×	-
82				1990年頃の主な湖沼の湖岸の改変状況	自然環境保全基礎調査	○	×	-
83				琵琶湖のヨシ群落の面積の変化	政府資料	●	×	-
84			㉖陸水生態系に生息・生育する種の個体数・分布	全国の湖沼におけるシャジクモの確認種数	論文	○	×	-
85				一級河川における外来種の確認種数	河川水辺の国勢調査	○	○	○
86				浅海域の埋立面積の推移	国土面積調	○	×	-
87				砂利等の採取量の推移	骨材需給表	○	×	-
88			㉗沿岸生態系の規模・質	堤防・護岸等の延長及びその割合	海岸統計	●	△	-
89				自然・半自然・人工海岸の延長の推移	自然環境保全基礎調査	●	×	-
90				干潟面積の推移	自然環境保全基礎調査	●	×	-
91				東京湾及び瀬戸内海の干潟面積の推移	自然環境保全基礎調査	●	×	-
92				藻場面積の推移	自然環境保全基礎調査	●	×	-
93				サンゴ群集面積の推移とサンゴ被度	自然環境保全基礎調査	●	×	-
94				石西礁湖におけるサンゴ被度の変化の事例	政府資料	●	×	-
95				東経137度線に沿った冬季の表面海水中の水素イオン濃度(pH)の長期変化	論文	●	×	-
96				砂浜の侵食速度の変化	政府資料	●	×	-
97				東京湾、伊勢湾、瀬戸内海における赤潮・青潮の発生件数	政府資料	●	△	-
98				閉鎖性海域における環境基準(BOD又はCOD)の達成度	公共用水域水質測定結果	○	○	-
99			㉘浅海域を利用する種の個体数・分布	秋季の渡りで日本を通過するシギ、チドリ個体数の傾向	統計	○	○	○
100				ハマグリ類の漁獲量の推移	統計	○	○	○
101				我が国周辺水域の漁業資源評価	我が国周辺水域の漁業資源評価	●	○	-
102			㉙有用魚種の資源の状況	漁獲量と海洋食物連鎖指数(MTI)	統計	●	○	-
103				漁獲量の長期トレンド	統計	○	○	○
104				南西諸島における固有種とその絶滅危惧種の割合	レッドリスト	○	○	○
105			㉚島嶼の固有種の個体数・分布	小笠原諸島における固有種とその絶滅危惧種の割合	レッドリスト	○	○	○
106				南西諸島における絶滅危惧種の減少要因	レッドリスト	●	○	-
			30	106		52	56	31

*重要性: ○(本文で言及)、●(付録で言及)
*更新可能性: ○(新たなデータあり)、△(新たなデータあるかもしれない)、×(新たなデータないであろう)

生物多様性の地図化						
	大項目	中項目	小項目	指標	データ元	更新可能性
1	要因の評価	第1の危機	①生態系の開発・改変	減少要因別の絶滅危惧種の種数分布(絶滅危惧種の確認種数(動物及び維管束植物))	自然環境保全基礎調査・レッドリスト	×
2				減少要因別の絶滅危惧種の種数分布(分布域が限定される絶滅危惧種の確認種数(動物及び維管束植物))		
3				過去の開発により消失した生態系(長期的な土地利用変化)	自然環境保全基礎調査・独自データ	×
4				過去の開発により消失した生態系(人工海岸の割合)	自然環境保全基礎調査	×
5				過去の開発により消失した生態系(短期的な土地利用変化)	国土数値情報	○
6			②野生動物の直接的利用	(重複)減少要因別の絶滅危惧種の種数分布		
7			③水域の富栄養化	(重複)減少要因別の絶滅危惧種の種数分布		
8			④絶滅危惧種の減少要因	(重複)減少要因別の絶滅危惧種の種数分布		
9				(重複)過去の開発により消失した生態系		
10				保護地域の指定状況	国土数値情報	○
11			⑤保護地域	保護地域と重要地域のギャップ(保護地域と国土を特徴づける自然生態系とのギャップ)		×
12				保護地域と重要地域のギャップ(保護地域と小規模で開発等に対して脆弱な生態系とのギャップ)		×
13				保護地域と重要地域のギャップ(保護地域と森林の連続性とのギャップ)		×
14				保護地域と重要地域のギャップ(保護地域と全ての絶滅危惧種(維管束植物)の効率的な保全に寄与する地域とのギャップ)		×
15		⑥捕獲・採取規制、保護増殖事業				
16		第2の危機	⑦里地里山の利用	(重複)減少要因別の絶滅危惧種の種数分布		
17				人口減少により管理の担い手が減少すると予測される地域	国勢調査・将来人口推計値	×
18				竹林が分布する可能性の高い地域	論文・解析	×
19				野生鳥獣による生態系への影響が懸念される地域	自然環境保全基礎調査等	×
20				人口減少により無居住地化が予測される里地里山地域	国勢調査・将来人口推計値	×
21			ニホンジカによる生態系への影響のおそれのある重要地域	報告書	×	
22		⑧野生鳥獣の科学的な保護管理	(重複)ニホンジカによる生態系への影響のおそれのある重要地域			
23		第3の危機	⑨外来種の侵入と定着	(重複)減少要因別の絶滅危惧種の種数分布		
24				侵略的外来種による生態系への影響が懸念される地域(アライグマの分布とその拡大予測)	自然環境保全基礎調査・報告書等	×
25			侵略的外来種による生態系への影響が懸念される地域(オオクチバスの分布)	自然環境保全基礎調査・報告書等	×	
26		⑩化学物質による生物への影響				
27		⑪外来種の輸入規制、防除				
28		地球温暖化の危機	⑫地球温暖化による生物への影響	地球温暖化による生態系・種への影響が懸念される地域(ブナの生育適地の変化予測)	自然環境保全基礎調査等・解析	×
29				地球温暖化による生態系・種への影響が懸念される地域(イワナの生育適地の変化予測)	自然環境保全基礎調査等・解析	×
30		対策の基盤	⑬生物多様性の認知度			
31			⑭海外への技術移転、資金供与			
32	森林	⑮森林生態系の規模・質	国土を特徴づける自然生態系を有する地域	自然環境保全基礎調査等	×	
33			小規模で開発等に対して脆弱な生態系を有する地域	自然環境保全基礎調査等	×	
34			緑の多い都市域	国土数値情報・自然環境保全基礎調査	○	
35			(重複)保護地域と重要地域のギャップ			
36			(重複)人口減少により無居住地化が予測される里地里山地域			
37		⑯森林生態系の連続性	森林が連続している地域	自然環境保全基礎調査等	×	
38		⑰森林生態系に生息・生育する種の個体数・分布	絶滅危惧種の確認種数	自然環境保全基礎調査・レッドリスト	×	
39			日本固有種の確認種数	自然環境保全基礎調査等	×	
40			全ての絶滅危惧種(維管束植物)の効率的な保全に寄与する地域	レッドリスト・解析	×	
41			全ての日本固有種(脊椎動物)の効率的な保全に寄与する地域	レッドリスト・解析	×	
42			(重複)保護地域と重要地域のギャップ			
43	(重複)ニホンジカによる生態系への影響のおそれのある重要地域					
44	⑱人工林の利用と管理	(重複)人口減少により管理の担い手が減少すると予測される地域				

生物多様性の地図化								
	大項目	中項目	小項目	指標	データ元	更新可能性		
45	状態の評価	農地	⑱農地生態系の規模・質	里地里山地域(植生図から見た里地里山地域の分布)	報告書	x		
46				里地里山地域(農地とその他の土地被覆のモザイク性を指標とした里地里山地域の分布)	論文(里山インデックス)	x		
47			⑳農地生態系に生息・生息する種の個体数・分布		(重複)絶滅危惧種の確認種数			
48					(重複)日本固有種の確認種数			
49					(重複)全ての絶滅危惧種(維管束植物)の効率的な保全に寄与する地域			
50					(重複)全ての日本固有種(脊椎動物)の効率的な保全に寄与する地域			
51					(重複)保護地域と重要地域のギャップ			
52					(重複)ニホンジカによる生態系への影響のおそれのある重要地域			
53			㉑農作物・家畜の多様性					
54			㉒都市緑地の規模	(重複)緑の多い都市域				
55		都市	㉓都市生態系に生息・生育する種の個体数・分布					
56		陸水	㉔陸水生態系の規模・質		(重複)国土を特徴づける自然生態系を有する地域			
57					(重複)小規模で開発等に対して脆弱な生態系を有する地域			
58					(重複)保護地域と重要地域のギャップ			
59			㉕河川・湖沼の連続性	河川の連続性	自然環境保全基礎調査等・解析	x		
60			㉖陸水生態系に生息・生育する種の個体数・分布		(重複)河川の連続性			
61					(重複)絶滅危惧種の確認種数			
62					(重複)日本固有種の確認種数			
63					(重複)全ての絶滅危惧種(維管束植物)の効率的な保全に寄与する地域			
64			沿岸・海洋	㉗沿岸生態系の規模・質		(重複)国土を特徴づける自然生態系を有する地域		
67						(重複)小規模で開発等に対して脆弱な生態系を有する地域		
68		(重複)保護地域と重要地域のギャップ						
69		㉘浅海域を利用する種の個体数・分布			潜在的に多数の渡り鳥が渡来する沿岸域	論文	x	
70					(重複)絶滅危惧種の確認種数			
71					(重複)日本固有種の確認種数			
72					(重複)全ての絶滅危惧種(維管束植物)の効率的な保全に寄与する地域			
73		㉙有用魚種の資源の状況		(重複)全ての日本固有種(脊椎動物)の効率的な保全に寄与する地域				
74				(重複)保護地域と重要地域のギャップ				
75	島嶼	㉚島嶼の固有種の個体数・分布		(重複)絶滅危惧種の確認種数				
76				(重複)日本固有種の確認種数				
77				(重複)全ての絶滅危惧種(維管束植物)の効率的な保全に寄与する地域				
78				(重複)全ての日本固有種(脊椎動物)の効率的な保全に寄与する地域				
79				(重複)保護地域と重要地域のギャップ				
80			30	31	3			

*更新可能性:○(データの更新が可能)、×(データや手法等の理由で更新不可)

里山里海の生態系と人間の福利									
	大項目	中項目	小項目	指標	評価方法 (想定されるもの)	指標の適切性	全国評価可能性	傾向評価可能性	総合判断
1	生態系サービス	供給サービス	米	収穫量	統計	○	○	○	○
2				耕地面積	統計	○	○	○	○
3				10a当たり収量	統計	○	○	○	○
4			特用林産物	マツタケ生産量	統計	○	○	○	○
5			畜産		統計	○	○	○	○
6			海面漁業・水産物	漁獲量	統計	○	○	○	○
7			海面養殖・養殖	漁獲量	統計	○	○	○	○
8			木材	林業生産指数	統計	●	○	○	-
9				立木蓄積量	統計	○	○	○	○
10				林業生産指数	統計	●	○	○	-
11			原材料	収籾量	統計	○	○	○	○
12				桑の栽培面積	統計	○	○	○	○
13		NOx濃度		統計・解析	●	○	○	-	
14		大気浄化	SOx濃度	統計・解析	●	○	○	-	
15			飛来量(黄砂・内分泌攪乱物質)	環境省HP	●	○	○	-	
16			気候調節	気温変動	統計・解析	●	○	○	-
17		洪水制御	雨量変動	統計・解析	●	○	○	-	
18			水田の面積	統計	●	○	○	-	
19			ため池数	農山村地域調査及び農村集落調査報告書	●	○	x	-	
20		調整サービス	森林面積	統計	●	○	○	-	
21			水質浄化	化学肥料・農薬使用量		●	x	x	-
22				下水処理普及率	下水道統計	●	○	○	-
23		生態系サービス	土壌侵食制御(農地・林地)	耕作放棄地面積	統計	●	○	○	-
24			林相変化		●	x	x	-	
25			土壌侵食制御(海岸)	土砂供給量		●	x	x	-
26		花粉媒介・病虫害制御	花粉媒介種数	論文等?	○	△	x	-	
27			耕作放棄地面積	統計	●	○	○	-	
28			林相変化		●	x	x	-	
29		文化サービス	宗教(寺社仏閣・儀式)	農薬使用量	統計	●	○	○	-
30				社寺数		○	x	x	-
31			祭	社寺林面積		○	x	x	-
32				祭りの種類数	日本自然保護協会資料	○	○	○	○
33			教育(環境教育・野外観察会・野外遊び)	盆花の利用		○	x	x	-
34				団体数	統計	○	○	○	○
35				参加者数		○	x	x	-
36			景観(景色・町並み)	活動面積		○	x	x	-
37				子供の野外遊び時間	日本自然保護協会資料	○	○	○	○
38			現代芸術(音楽・舞踏・美術・文芸・工芸)	里山100選の登録数		○	x	x	-
39				生産量		○	x	x	-
40				従業者数		○	x	x	-
41		伝統芸能(音楽・舞踏・美術・文学・工芸)	平均年齢(後継者の育成)		○	x	x	-	
42			生産量	資料(伝統工芸品)	○	○	○	○	
43			従業者数		○	x	x	-	
44		登山・観光・グリーンツーリズム	平均年齢(後継者の育成)		○	x	x	-	
45			施設数		○	x	x	-	
46		遊魚・潮干狩り・山菜とり・ハンティング	参加者数	レジャー白書・自然公園等利用者数調	○	○	○	○	
47			施設数		○	x	x	-	
48		参加者数		レジャー白書	○	○	○	○	
			22	47	29	30	28	15	

* 指標の適切性: ○(生態系サービスを直接的に表すもの)、●(生態系サービスを間接的に表し得るもの)

* 全国評価可能性: ○(全国的にデータが整備されている)、△(全国的なデータに言及した論文等があるかもしれない)、×(全国的にはデータが整備されていない)

* 傾向評価可能性: ○(複数年のデータあり)、×(複数年のデータなし)

生態系サービスの定量評価									
	大項目	中項目	小項目	指標	評価方法 (想定されるもの)	指標の適切性	全国評価可能性	傾向評価可能性	総合判断
1	生態系サービス	供給サービス	米	生産可能量	作物統計	○	○	○	○
2			畑作物	大豆生産可能量	作物統計	○	○	○	○
3				日本なし生産可能量	作物統計	○	○	○	○
4				特用林産物	クリ生産可能量	作物統計	○	○	○
5			タケノコ生産可能量			○	×	×	×
6			海面漁業・水産物		ヒラメ漁獲可能量		○	×	×
7				カレイ漁獲可能量		○	×	×	×
8				メバル漁獲可能量		○	×	×	×
9				取水可能量		○	×	×	×
10			木材	生産可能量	木材統計	○	○	○	○
11			原材料	牧草生産可能量	作物統計	○	○	○	○
12				ヨシ生産可能量		○	×	×	×
13		調整サービス		大気浄化	NO2吸収量	解析・論文	○	○	○
14				SO2吸収量	解析・論文	○	○	○	○
15			気候調節	炭素固定量	解析・論文	○	○	△	△
16				蒸発散量	解析・論文	○	○	○	○
17			水量調整	地下水涵養量	解析・論文	○	○	△	△
18			水質浄化	全窒素除去量	解析・論文	○	○	△	△
19				全リン除去量	解析・論文	○	○	△	△
20				土壌侵食制御	土壌流出防止量	解析・論文	○	○	△
21			地力の維持	有機態窒素維持量	解析・論文	○	○	△	△
22				有機態リン酸維持量	解析・論文	○	○	△	△
23			洪水制御	流量調節量	解析・論文	○	△	△	△
24			表層崩壊防止	安全率の上昇度	解析・論文	○	△	△	△
25			津波緩和	流速の低減度	解析・論文	○	△	△	△
			16	25		25	19	19	19

* 指標の適切性:○(生態系サービスを直接的に表すもの)、●(生態系サービスを間接的に表し得るもの)

* 全国評価可能性:○(全国的にデータが整備されている)、△(地域性が高く全国で合算値を示すことは困難)、×(全国的にはデータが整備されていない)

* 傾向評価可能性:○(複数年のデータあり)、△(時点数に限られる)、×(複数年のデータなし)

人間の福利													
	大項目	中項目	MAでの分類	JABESでの分類 (小項目)	指標	評価方法	全国評価 可能性	傾向評価 可能性	総合判断				
1	人間の福利	豊かな生活の基本資材	適切な生活条件	所得・雇用	所得(1次産業)	統計	○	○	○				
2					雇用(1次産業)	統計	○	○	○				
3				十分に栄養のある食糧	食糧・水	食糧消費量	食糧消費量	○	○	○			
4						生活用水使用量	水道統計	○	○	○			
5				住居	住居	木造住宅数	住宅・土地統計調査	○	○	○			
6				商品の入手	素材・エネルギー	バイオマス利用料	バイオマス利用実態調査	○	×	-			
7		健康	体力	栄養摂取	摂取カロリー	国民健康・栄養調査	○	○	○				
8					疾病の治療・予防					-			
9			清浄な空気および水	清浄な空気および水	水質	統計	○	○	○				
10						大気質	統計	○	○	○			
11		精神的な快適さ	アメニティ	レクリエーション	参加者数	レジャー白書	○	○	○				
12													
13		安全	個人の安全	(重複)豊かな生活の基本資材									
14			資源利用の確実性										
15			災害からの安全	災害からの安全	被災面積	災害統計	○	○	○				
16		良い社会的な絆	社会的な連帯	社会的な連帯	環境NGO数	環境NGO総覧	○	○	○				
17			扶助能力										
18			相互尊敬	相互尊敬									
				12		12	11	11					

* 全国評価可能性: ○(全国的にデータが整備されている)、×(全国的にデータが整備されていない)

* 傾向評価可能性: ○(複数年のデータあり)、×(複数年のデータなし)